

花さき山

タイトル文字: 滝平二郎



おはなし会

11月 8・15日(日)
14:00~14:30

★スタンプカードをお配りしています。
おはなし会に参加するとスタンプを1つ
おします。
スタンプ5こでプレゼント贈呈!



ブックスタートクラブ

毎週水曜日 視聴覚室解放

(9:00~17:00)

ボランティアの方や子育て支援センターの
先生による子育て相談や絵本の読みきかせ↓

11月 4・11・**18**・25(水)

10:00~11:30

※丸数字は 11:00~11:30



読書週間

【主催: 公益法人 読書推進運動協議会 期間: 10月27日(火)~11月9日(月)】

としょかん de ビンゴ!

期間: 11月1日~11月29日

対象: 0~15歳の

図書館カードをお持ちの方

図書館オリジナルビンゴカードに挑戦しよう!
カードに書かれた本を貸りて読んで、ビンゴを
狙おう★そろったら景品をプレゼント!!

やみなべコーナー

11月1日から開始!

スタッフが厳選した本を一
枚のカードを頼りに選んで
ください。

タイトルも大きさも隠され
た本たちが、あなたをお待ち
しています。



リサイクルフェア

日時: 11月21日(土)~11月23日(月[祝]) 9:00~17:00

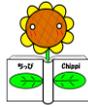
場所: **明野図書館** 視聴覚室

内容: 再利用本をご希望の方にお持ち帰りいただけます。

今回雑誌はありません



図書館カレンダー、特集コーナーはご来館の際、ご確認ください。



「加波山事件 131 年目の発見」

白石 誠

私たち、加波山事件(自由民権運動)研究会(会長 桐原 光明)は、発足一年の組織です。昨年「自由民権『加波山事件』生起 130 年記念祭」を取り組み、自由民権運動を風化させることなく、継続した研究にしていこうと、スタートした。

そのなかで、私が、発見したことをふたつ紹介する。

そのひとつは名前である。「三浦文次」と「三浦文治」

加波山事件の志士 三浦文治は、三浦通庸(福島県令)の政治に抗し、「福島事件」で捕えられる。栃木県庁開庁式で、三島県令ら政府高官の襲撃を主張、9月23日、加波山山頂に立ち「圧政政府顛覆」と書いた幟を掲げた。

三浦文治の残した言葉、「わが子よ。父は身の肥ゆるを欲せず、志の肥ゆるを欲す」

今まで、彼の名は「三浦文治」と教わってきた。「加波山事件関係資料集」(昭和45年発行)はじめ、加波山関係史料はすべて「文治」と表記されている。

福島県喜多方の三浦氏の遺族の方々と6月に交流した際頂いた「今、改めて学びなおす加波山事件」を読んでいくと「文次」と書かれている。早速、ご遺族に確認を取った。「戸籍上は文次が正しい」と。なぜ、「文治」になったかは、わからないとのこと。(もしや、裁判の調書が間違っ書かれたか?)

ふたつ目は、『志表』の碑である。

妙西寺にある「史跡加波山事件志士の墓」(左から、故平尾八十吉君墓、故富松正安君墓、故保多駒吉君墓)墓域に向かい右側に「志表」の碑がある。それが解ったのは、『碑文は語る 筑西市の歴史』を出版された、鈴木健夫氏から「表志」の拓本を頂いたからである。

碑表には墓碑建立に賛同した642名の名が刻まれている。

板垣退助・林有造・片岡健吉等の土佐の民権派の政治家を先頭に、栃木の星亨衆院議長、大蔵大臣松田正久、犬養毅総理、大井憲太郎(大阪事件の中心人物)

茨城では、衆議院議員浜名信平(関本村)、小久保喜七(中田村、衆議院議員 明治43年「加波山事件殉難志士表彰に関する建議」を第26回帝国議会に提出、25年目で亡き友の汚名を雪いだ。)

朝比奈知泉(水戸)「東京日日新聞」主筆、関戸覚藏(潮来)「東陞民権史」著者、飯村丈三郎(上妻村) 茨城新聞社の第2代社長、旧制茨城中の創立者。

下館の関係者 田宮太平、大内達三郎、倉持茂三郎、瀬端東作、間々田惣介等々。全ての賛同者の経歴が調べられるか、今後の課題である。

桐原会長は「加波山事件」の趣旨は「檄文」にあるといつも言われている。「自由立憲政体を造出せんと欲す」という最後の一文を、研究会のテーマに据え、「加波山事件」と深い関わりのある「福島事件」の関係者との交流を行ない、地元での活動を盛り上げていければと考えている。

(しらいし まこと / 加波山事件(自由民権運動)研究会 事務局長)

